

編集後記

新型コロナウイルスが感染症法上の分類で「5類」に移行し、各種の制限が緩和されたことから、街中でも訪日外国人の方々や観光客を多く見かけるようになり、マスクを外されている方も徐々に増えてきました。

また、これまで自粛や延期されていた大人数による対面会合や活動も再開されてきており、コロナ禍前の日常を取り戻しつつあると実感されている方も多いと思います。

感染者数の実数把握が見直されたこともあり、新型コロナウイルスに関する報道そのものが減ってきた一方で、ニュースで取り上げられる話題は、世界各地での紛争や対立、世界経済の動向などのほか、ここ最近では、日本各地で頻発する大きな地震に関する報道が増えてきたように感じるものが個人的には気になっています。

日本は世界の中でも「地震大国」とも言われ、これまでも多くの地震災害による犠牲や被害を受けてきました。これら多くの経験や教訓から、様々な災害対策や、その技術を有しており、世界中から注目される日本の技術の一つではないでしょうか。

災害復旧に関する非開削技術として、「改築技術」を思い浮

かべる方も多いと思います。

本特集号では、その「管路の非開削改築技術」を特集として、災害復旧事例のほか、老朽管対策・流量増加における管径拡大・耐震化などの活用事例、特殊な施工条件での施工事例、新技術・工法などの多くの情報をご紹介します。

「管路の改築技術」は、地震災害などによる損傷した管路の復旧工法として脚光を浴びたこともありました。そのため地震災害における管路の復旧工法というイメージを持たれている方も多いと思いますが、本特集をご覧いただければ、災害における管路の復旧技術に限らず、幅広く活用できる技術であることをご理解いただけたことと思います。

今回の特集記事については、多くの方々にご協力とご執筆をいただきましたことを深く感謝いたしますとともに、厚く御礼申し上げます。

今後も新しい技術や可能性、最新情報をご紹介できる機関誌として、会員の皆様の一助となれば幸いです。是非、本誌をご覧いただいたご感想やご意見をお寄せください。

(本誌編集委員 河西一嘉)

○機関誌編集委員会

□特別顧問

▶森田 弘昭
(一社)日本非開削技術協会会長

□委員長

▶尾崎 正明
(株)G&U 技術研究センター代表取締役

□委員

▶浅井 岳春
オリジナル設計(株)コンサルテイング一部エンジニアリング課

▶小川 仁
芦森工業(株)機械製品事業本部バルテム統括部バルテム営業部長

▶河西 一嘉
エクシオグループ(株)土木事業本部土木営業部門担当課長

▶熊谷 岳志
(公財)水道技術研究センター管路技術部長

▶黒田 博之
大和技建(株)関東支店支店長

▶鈴木 敬一
川崎地質(株)企画・技術本部課長

▶竹中 聡
東京電力パワーグリッド(株)工務部流通土木グループ管路チームリーダー

▶田中 宏治
管清工業(株)生産技術部生産技術課主任

▶津野 和宏
国土館大理工学部理工学科まちづくり学系教授

▶出口 大志
NTTインフラネットワーク(株)設備本部設備マネジメント部アーバンデザインセンター所長

▶中川 喜夫
中川ヒューム管工業(株)取締役執行役員戦略推進室長

▶長島 隆幸
株式会社コンサルタント取締役東日本事業本部副事業部長兼東京支社社長

▶西坂 浩章
積水化学工業(株)環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部課長

▶森 治郎
アイレック技建(株)非開削推進事業本部副部長

▶山長 聖和
(株)奥村組営業本部営業戦略部管理課長

○編集スタッフ

事務局長：金子 謙二
編集：赤坂 誠 ・ 大屋 健
古川みずき ・ 石田 逸人

環境にやさしい

非開削技術

季刊

No.124 2023 Jul. 令和5年7月1日発行

編集：「非開削技術」編集委員会

発行所：一般社団法人 日本非開削技術協会

〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18

リードシー門前仲町ビル3階

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

E-mail: office@jstt.jp

https://www.jstt.jp/

発行人：森田弘昭

印刷所：株式会社LSプランニング



● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料(税込み)

1冊 1,650円(本体1,500円)〒400円

1ヵ年(4冊)6,600円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇技術記事

非開削に関連する技術、製品についての技術記事を募集しています。

投稿技術記事は委員会での選考の上、掲載技術記事には本誌規定の原稿料をお支払いすると共に「非開削技術報告表彰」の候補としてノミネートされます。

◇情報のご提供について

非開削技術に関連する新技術、新製品の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2023 Printed in Japan / ISSN 2435-841X

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。